

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 078	提案機関名 神奈川県酪農業協同組合連合会
要望問題名 酪農経営における和牛受精卵産子哺育育成技術の適正化	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 世界的な穀物需給のひっ迫による飼料の高騰は畜産経営、特に酪農経営では危機的な状況となっている。経営を好転させる一つの方策として当会では国の補助事業を活用し、和牛受精卵の利用推進を行っています。 現在のところ40経営を上回る生産者が取り組んでおり、今後も増加することが想定されます。現在移植している受精卵は来年1月以降順次生まれ始めます。しかし、技術的に不安な生産者も多く、せつかくの努力も哺育育成の失敗で水泡に帰ってしまう不安があります。ぜひ県の技術者の力により、適正な哺育をご指導いただきたく提案します。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部 企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	①、②、④の場合)		
対応の内容等	黒毛和種子牛はホルスタイン種子牛に比較して生時体重が小さく下痢等の疾病罹患率が高いことが知られています。このような子牛の損耗防止のためには、黒毛和種子牛の生理、生態を踏まえた適正な飼養管理、衛生管理、並びに子牛の飼育環境への配慮が必要です。ご提案のあった課題については、適正な哺育育成技術を指導するための資料が作成されていますので関係機関と連携し、各酪農家の状況に合わせて現地対応します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	・黒毛和種子牛の人工哺育マニュアル (社) 神奈川県畜産会 (平成11年2月) ・和牛子牛を上手に育てるためにー和牛子牛の損耗防止マニュアルー (社) 畜産技術協会 (平成19年3月)		